

富山県知事

新 田 八 郎 様

要 望 書 (案)

令和 8 年 1 月 1 4 日
富山県 P T A 連 合 会

要 望 書

平素より、小中学校教育の振興に格別のご高配を賜りますとともに、P T A活動に深いご理解とご協力をいただいていることに、心より感謝申し上げます。

私たち富山県P T A連合会は、「子どもは、家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」という基本理念に基づき、子どもたちの健やかな成長とP T A活動の発展を推進することを目的として、貴職をはじめ富山県教育委員会や本県教育に携わる皆様と共に、積極的に取り組んでまいります。

昨今の予測困難な時代においては、柔軟かつ適切に対応できる能力がこれまで以上に求められています。目の前にある現象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の人々が協働しながら議論し、効果的な解決策を生み出す資質・能力が重要であるとされ、探究的な学習の充実とその質を高める協働的な活動が重視されています。また、「ICT 教育」の強化により、全ての学校においてデジタルツールを活用した授業が行われ、児童生徒の情報活用能力の育成が図られています。さらに、「チーム富山教育」の理念に基づき、地域社会との連携を強化し、学校外の学びの場を通じて、子どもたちが協働的に学び合う環境づくりが推進されています。これらの取り組みを通じて、次世代を担う子どもたちが自らの力で社会に貢献できる人材として成長するための環境が整えられていることに、心より敬意を表します。

しかしながら、教育現場の最前線である小・中学校では、新たな取り組みが増加する一方で、働き方改革や部活動の地域展開など、様々な課題が山積しているのも事実です。

富山県P T A連合会では、昨年度に引き続き県内 14 地区長を交えた「ワンチームとやま推進検討会議」を設置し、県内全域の情報収集・共有に取り組んでおります。この要望が、富山県内P T A会員の総意であることをご理解いただけますようお願い申し上げます。

すべての子どもたちが、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な環境で基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育むことができる魅力的な教育環境の推進に力強いご支援を賜りますとともに、本連合会事業等への助成をはじめ、その他の要望事項についても、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 1 月 14 日

富山県P T A連合会

会長 沼田 秀和

令和 7 年度 要望事項

1 質の高い学校教育の継続・発展

- (1) 教育の質の向上に必要な教員の確保
- (2) 各種支援要員の増員と対策予算の増額
- (3) 部活動の地域展開後に必要な活動環境の整備支援
- (4) エアコンの設置率の早期改善

2 一人ひとりの児童生徒を大切にする教育の推進と充実

- (1) 特別な支援が必要な子どもたちへの対応
- (2) いじめ・不登校対策と心の教育の充実
- (3) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

3 家庭・学校・地域で取り組む児童生徒の成長支援の推進

- (1) スマホ・ネット・ゲーム依存の防止と情報モラル教育の充実
- (2) 登下校時における安全確保と地域と連携した防災・防犯力の強化
- (3) 地域と連携した学習支援体制の整備

4 子育て支援と若者世代の育成

- (1) 学校以外の子どもの居場所への支援
- (2) こどもまんなか社会の実現を推進するための施策

5 富山県 PTA 連合会の振興

1 質の高い学校教育の継続・発展

(1) 教育の質の向上に必要な教員の確保

教員の大量退職が毎年見込まれるとともに、様々な教育課題への対応等の増加で、子どもたちの学びを支える教育現場は、現在、深刻な人員不足に直面しています。教育の質を維持・向上させるためには、教員の安定的な確保が不可欠です。

子どもたちの未来を守るために、現場の声に耳を傾け、教育を支える仕組みの再構築のため、県として次の対策を早急に講じていただきますよう要望いたします。

- ① 「とやま UIJ 現職教員選考」等、採用制度の改善を生かした即戦力の安定確保
- ② 教員のなり手を増やすための働き方改革の一層の推進

(2) 各種支援要員の増員と対策予算の増額

教育現場では、スクールサポートスタッフや ICT 支援員など、各種支援要員の配置が進み、教員の負担軽減に大きな効果を上げています。一方で、支援要員自体の人員不足も深刻であり、現場では対応に苦慮している状況です。

教員が本来の役割である「授業」に集中し、子ども一人ひとりの学びと心を支えることができるよう、専門的な支援体制のさらなる拡充を求めます。

- ① GIGA スクール構想における授業・校務支援体制の強化
- ② 様々な背景をもつ児童生徒に対応できる多様な支援体制の整備

(3) 部活動の地域展開後に必要な活動環境の整備支援

少子化が進む中で、部活動の地域展開や拠点校化は、子どもたちの活動機会を確保するうえで重要な取組です。拠点校や地域クラブの整備は進みつつあるものの、移動手段や活動時間等の課題が生じており、保護者や地域の努力だけでは限界があります。

今後も、関係機関が協力しながら課題を検証し、よりよい仕組みへと発展させていくために、県の積極的な支援が不可欠です。つきましては、以下の対応を進めていただきたく要望いたします。

- ① 送迎・夜間活動に伴う子ども・保護者の負担軽減のためのバス運行や費用補助等、具体的な対策の充実・拡充
- ② 各自治体の実情に応じた柔軟な支援体制のさらなる充実

(4) エアコンの設置率の早期改善

近年、真夏日や猛暑日の日数が増加し、学校体育館での運動は熱中症の危険が高く、安心して使用できない状況が続き、子どもたちが体を動かす機会が減少しています。また、学校体育館は災害時に地域住民の避難所として重要な役割を果たします。人々の命を守り、安全・安心に過ごすことができる環境を整えるためにも、空調設備の整備は急務です。今年度、各市町村で学校体育館へのエアコン設置の動きは出ていますが、県内の学校体育館のエアコン設置率はいまだ低く、教育環境および防災拠点としての機能向上のために、早急な対応が求められます。

また、特別教室においても、授業や活動の質を確保するためには適切な温熱環境が不可欠です。

学校体育館および特別教室へのエアコン設置を進めるには、さらなる国や県の補助が必要な状況です。県独自の補助制度の創設等、一層の支援をお願いいたします。

2 一人ひとりの児童生徒を大切にする教育の推進と充実

(1) 特別な支援が必要な子どもたちへの対応

特別な支援を必要とする児童生徒への理解や支援策については、保護者や教職員をはじめとする関係者が正しい理解を共有することで、支援を必要とする子どもたちが円滑かつ自然に支援を受けることができるようになります。そのための環境の整備が求められます。

また、特別支援級における1学級あたりの児童生徒数の基準は現在8名ですが、6名とすることで教員の負担軽減ときめ細やかな指導の充実が図られると考えます。

県では特別支援教育の充実に向けて多様な施策を進めておられますが、さらに効果を高めるためには、情報発信体制の強化と県・自治体の連携促進が重要

です。また、情報の発信に当たっては、保護者や教職員だけでなく、児童生徒自身も受け手であるという視点を関係者全体で共有する必要があります。

全ての子どもが安心して学び、支援を受けられる環境づくりのために、次の取組を要望いたします。

- ① H S Cやその他のグレーゾーンの子どもたちも含む発達障害等への理解促進や支援策に関する情報発信のさらなる強化
- ② 特別支援級の1学級当たり人数の少人数化に迫るための、各種支援員の増加等を含めた県としてのさらなる対応
- ③ 県と市町村教育委員会の連携による情報配信システムの整備

(2) いじめ・不登校対策と心の教育の充実

県内におけるいじめの件数は高い水準にあり、不登校件数も増加していることから、依然として極めて深刻かつ優先順位の高い教育上の課題です。いじめの未然防止・早期発見・組織的対応体制の充実や不登校児童生徒への多様な教育選択肢の整備が必要であると考えます。

子どもたち一人ひとりが安心して学び、心身ともに健やかに成長できる教育環境の構築のため、以下の点について早急な対応を要望いたします。

- ① いじめ対応に精通した教職員の育成のための教員研修の充実と専門職の配置
- ② 電子端末を活用した学校と保護者の情報交換体制の構築
- ③ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの学校内外での支援体制の強化
- ④ 不登校児童生徒への校内教育支援センターや不登校特例校、フリースクール、オンライン学習等の充実・拡充
- ⑤ 「富山県こども総合サポートプラザ」のさらなる周知

(3) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

近年、個別最適な学びと協働的な学びを一体として捉えることは、子どもたちの学習意欲や思考力を育むうえで非常に重要です。また、ICTを活用した学びの個別化・協働化を進め、子どもたちが互いに学び合う機会を増やすことも大切です。しかし、教育現場では、教員の指導力の格差や児童生徒間の学習意欲の差が拡大しており、個別最適な学びと協働的な学びを効果的に結びつける

仕組みづくりが急務です。

このための教員研修や ICT 支援体制への支援を以下のように要望いたします。

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業改善のための
研修の推進
- ② ICT の効果的な活用も含めた実践事例を共有することで、よりよい学びを提供できる環境づくり

3 家庭・学校・地域で取り組む児童生徒の成長支援の推進

(1) スマホ・ネット・ゲーム依存の防止と情報モラル教育の充実

近年、スマートフォンやパソコン、ゲーム機の普及により、子どもたちの生活へのデジタル機器の影響は非常に大きくなっています。一方で、過度の利用による依存傾向や生活リズムの乱れ、学習意欲の低下、人間関係への影響など、子どもの心身の発達に悪影響を及ぼす課題が身近なものとなっています。

子どもたちがデジタル機器を適切に使い、健やかに学び・成長することができる環境の整備のために、県として以下の取組を強化していただきたく要望いたします。

- ① 依存傾向が見られる子どもに対応する相談窓口の県内全域への設置
- ② ICT 活用・情報モラル教育・ネットリテラシー教育に関する教員研修の充実
- ③ デジタル機器を学びの道具として活用する教育の推進と関連施策・予算の確保
- ④ ネット・ゲーム依存防止のための家庭への啓発と保護者の学びの機会の確保

(2) 登下校時における安全確保と地域と連携した防災・防犯力の強化

富山県および各市町村では、災害・防災対策マニュアルを整備し、地域の特性に応じた取組を進めてこられました。能登半島地震や頻発する線状降水帯への対応として、児童生徒の登下校時の災害対応マニュアル作成も進められています。また、防犯・交通安全情報をスマートフォンで受信できる環境も整いつつあります。

一方で、最近では山間部のみならず市街地でも野生動物の出没が相次いでおり、児童生徒が万が一、遭遇した場合に、安全に行動する能力や態度を育てることが必要となっています。

子どもたちの命を守るため、以下の対応を早急に進めていただきたく要望いたします。

- ① 児童生徒が自ら危険回避できる意識を育む教育の推進
- ② 教員の危機管理能力向上のための実践的研修の導入
- ③ 野生動物への対応を含めた、実効性のある危機管理マニュアルの早急な作成、修正と周知
- ④ 学校や地域の実態に応じた緊急・複合的避難訓練の実施

(3) 地域と連携した学習支援体制の整備

文部科学省の調査では、世帯収入と学力には相関があることが示されています。また、近年、家庭の経済状況による教育機会の格差が顕著となり、特に塾等の民間教育サービスを利用できない家庭の子どもたちは学力面で不利な状況にあります。

この状況を改善するため、地域の教育資源や人材を活用した学習支援体制の構築が急務です。具体的には、地域の NPO や大学、退職教員等と連携し、経済的事情に左右されず学ぶことができる場を提供することにより、子どもたちの可能性を広げるとともに、地域全体の教育力向上につながると考えます。つきましては、県として地域連携型学習支援事業への支援拡充と制度整備を要望いたします。

4 子育て支援と若者世代の育成

(1) 学校以外の子どもの居場所への支援

学校に通う子どもも、学校以外を選ぶ子どもも、等しく権利と個性が守られることを前提に、安心して過ごすことができるような環境づくりが大切であると考えます。また、支える保護者についても同様です。

子ども一人ひとりが安心して学び、成長できる教育環境の実現のため、県として以下の対応を進めていただきたく要望いたします。

- ① フリースクールや家庭学習を行う保護者への交通費の負担や就労困難等に

伴う負担の軽減

- ② オンライン学習の活用や外部での学習も出席扱いとする柔軟な体制の整備
- ③ 子どもも保護者も、学校と連携するカウンセラーに相談できるオンライン相談体制の構築
- ④ フリースクールやオンライン学習等、多様な学びの場についての情報提供

(2) こどもまんなか社会の実現を推進するための施策

知事が推進される「こどもまんなか社会」では、次の時代を担う子どもたちを育てていくことが大切な務めであるとされており、「地域で育む、富山県で育む、オール富山で子どもたちを育む」として未来に向けた人づくりを重要視しておられます。

子どもたちの健全な育成のためには、教育環境や家庭環境に関わる支援が不可欠です。つきましては、以下の支援を積極的に推進していただきたく要望いたします。

- ① 保護者の経済的負担を軽減し、家庭の教育環境を支えるための施策の充実
- ② 給食費無償化の推進と市町村間格差の是正
- ③ 子育て世帯への途切れない支援の充実
- ④ 子どもが安全に自由に過ごすことができる居場所の整備
- ⑤ 天候に左右されず遊ぶことができる屋内型遊び場の整備・支援

5 富山県 PTA 連合会の振興

従前において、本連合会の富山県 P T A 会員大会や地区 P T A 協議会研修活動等へ助成をいただき、深く感謝申し上げます。

富山県 PTA 連合会は、今後とも「学校・家庭・地域社会」が相互の教育的役割について理解を深め合い、その充実に努めながら、次世代を担う子どもたちの健全育成と環境改善を図っていくための活動に取り組んでまいります。引き続き本連合会の振興のために力強いご支援をお願いします。

また、令和 9 年度に開催される第 83 回日本 P T A 東海北陸ブロック研究大会富山大会に向けて準備を進めておりますので、さらなるご指導とご支援をお願いいたします。